

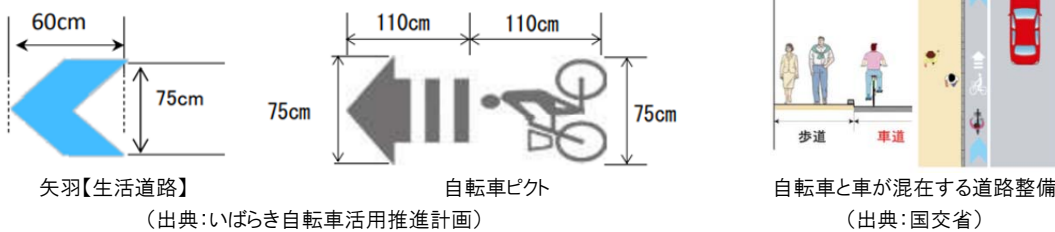
3. 石岡市自転車ネットワーク計画の概要

- 「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」等に基づき、自転車走行空間の確保や利用環境の改善を目的とし、自転車の安全な利用を促進するハード整備の具体的な方針を定めます。
- 計画において、優先的に整備を進める路線を選んでいきます。



- 自転車ネットワークとして整備を進める路線は、自転車が安全で快適に通行できるよう、通行位置を道路に明示するなど利用者に分かりやすい整備を行います。また、環境等を考慮した整備手法を検討します。

自転車の通行空間の整備イメージ



問合せ

石岡市 市長公室 政策企画課

Tel: 0299-23-1111

Fax: 0299-22-5276

E-mail: kikaku@city.ishioka.lg.jp

石岡市りんりんタウン構想【概要版】

1. 「石岡市りんりんタウン構想」とは

計画の策定趣旨

- 自転車は暮らしに身近で便利な乗り物で、「通勤・通学」や「買い物」、「観光」など様々な場面で利用されています。
- また、自転車の活用は、環境への負荷を低減することや災害時における交通機能を維持すること、人々の健康増進などの新たな課題への対応策としても期待されます。
- しかし本市では、移動は自動車に依存している傾向にあり、利用できる駐輪場の不足や、自転車の基本的交通ルールが守られていないことによる通学時の交通事故の多発など、自転車の利用環境に課題を抱えています。また、豊富な地域資源を十分に活用できていないという課題もあります。
- 本計画では、より安全・安心で快適な日々の暮らしや、地域資源を活かした観光の充実をめざして、自転車を利用しやすい環境づくりを進めていきます。



日々の利用



観光での利用

基本的な考え方と目標

- 石岡市りんりんタウン構想は、「自転車の交通手段としての利便性を高めること」と「自転車でまちの魅力を高めること」を基本的な考え方としています。
- 自転車の利用状況や課題も踏まえ、「自転車に乗る市民が増えること」と「豊富な観光資源を生かして自転車に乗りに来る人が増えること」を同時進行でめざして、本計画では以下2つの目標を立てています。

石岡市りんりんタウン構想の目標

目標Ⅰ “暮らし”の中の自転車環境の整備

- 自転車が安全に走行・利用できる、道路及び駐輪環境の創出
- 自転車が生活環境の中で身近な交通手段になるための意識共有
- 日常生活の交通手段として利用でき、健康増進につながる環境づくりの推進

目標Ⅱ “観光振興”における自転車活用の推進

- 地域資源を回遊できるようなサイクリング環境の創出
- 近隣市等との広域連携を考慮したレンタサイクルの活用の推進
- サイクルイベントなどによる自転車利用の啓発活動の推進

計画の位置づけ

国の計画

- 自転車活用推進計画 (H30年6月)
 - ・自転車の活用による環境負荷の低減、災害時の交通機能維持、国民の健康増進など新たな課題に対応
 - ・交通における自動車依存の低減、自転車の役割拡大

県の計画

- いばらき自転車活用推進計画 (H31年3月)
 - ・誰もが安全・快適に自転車を活用できる地域づくり
 - ・健康増進、サイクルツーリズムなどを暮らしの中に浸透

市の上位計画

- 石岡みらい創造プラン (H30年3月)
 - ・地域公共交通の利便性向上、交通安全の推進、健康づくり活動・生涯スポーツの推進
 - ・観光資源を活かした魅力向上と広域連携による周遊観光の推進

石岡市りんりんタウン構想

計画期間: 2019年度～2028年度

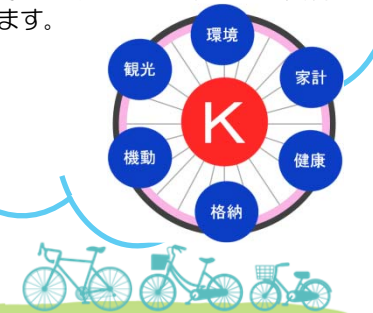
市の関連計画

- ・石岡市都市計画マスタープラン
- ・石岡市立地適正化計画
- ・石岡市地域公共交通網形成計画 等

◇市民のみなさんへの効果◇

“自転車の効用 6つのK”

自転車の活用は、「環境」「家計」「健康」「格納」「機動」「観光」といったさまざまな分野に効果をもたらすことが期待されています。





2. 施策の体系

- 2つの目標の実現に向けて、以下のような施策を位置づけて取り組みを進めていきます。施策ごとに、特に力を入れて取り組みたい措置を「重点事業」としています。

目標Ⅰ “暮らし”の中の自転車環境の整備

施策
(1)

公共交通との連携強化

・市内には、バスなどの公共交通の利用が不便な地域があります。
・このような地域で自転車が移動手段のひとつとなるよう、公共交通との連携を強化します。

重点
事業

路線バス等との連携

- ◆バス停などに駐輪場を整備し、サイクルアンドライドを推進

施策
(2)

安全な走行環境の整備

・自転車の走行環境の充実に対するニーズが高い状況にあります。
・自転車ネットワーク計画を推進し、安全に走行・利用できる自転車通行空間の計画的な整備に取り組みます。

重点
事業

自転車ネットワーク計画の推進

- ◆交通安全に関する部分から優先的に整備

施策
(3)

駐輪場の確保

・石岡駅前以外の場所では駐輪場が不足しています。
・地域ニーズを踏まえ、駐輪場等の確保を推進します。

重点
事業

サイクルラックの拡大・普及

- ◆石岡市産木材を活用したサイクルラックを作成
- ◆公共施設や店舗などに設置

施策
(4)

サイクリングによる健康づくりの推進

・将来的な生活習慣病等の予防が求められています。
・健康増進に向けた取り組みやサイクルクラブの育成等を図ります。

重点
事業

民間企業との連携によるウェルネス講座等

- ◆健康づくりの講話などで、サイクリングを紹介
- ◆関係する民間企業と連携

サイクルクラブの設立運営の支援及び広報啓発

- ◆自転車活用のモデルとなるサイクルクラブの育成と啓発

施策
(5)

自転車の安全利用の推進

・通学時などに、自転車が関係する事故が多い状況にあります。
・交通ルールの周知や自転車保険への加入等を促します。

重点
事業

安全教育の実施

- ◆幼少期から大人までの幅広い年齢を対象に実施
- ◆交通ルールの周知や自転車保険への加入などを促進

施策
(6)

環境に優しい交通手段として活用

・通勤の自家用車依存により交通渋滞・環境への影響が懸念されます。
・自転車での通勤がしやすい環境づくりを進めます。

重点
事業

公共施設等における駐輪場の整備

- ◆駐輪場の整備による自転車利用率の向上

施策
(7)

災害時における自転車の活用

・災害時の地域の安全・安心を確保する必要があります。
・災害時における自転車の利用を想定し、啓発や公共施設等での危機管理体制の強化を進めます。

重点
事業

公共施設等への自転車配備による危機管理体制の強化

- ◆災害時の被害調査や各種情報収集、現場対応などに自転車を活用

目標Ⅱ “観光振興”における自転車活用の推進

施策
(8)

地域資源を活用した回遊

・筑波山麓や霞ヶ浦、恋瀬川といった豊かな地域資源があります。
・地域資源を回遊できるサイクリング環境の創出を図ります。

重点
事業

付加価値をつけたサイクリングコースの設定

- ◆地域資源を活用した新たなサイクリングのルートを設定

施策
(9)

レンタサイクルを活用した地域振興

・誰もが楽しめるサイクリング環境づくりを推進します。
・レンタサイクルを活用した地域活性化や広域的なサイクリングコースを検討します。

重点
事業

筑波山麓の広域連携、霞ヶ浦湖岸の広域連携

- ◆つくば霞ヶ浦りんりんロードや広域で実施するレンタサイクルを活用
- ◆広域的な連携を推進

施策
(10)

サイクリングイベント等の開催と情報発信強化

・サイクルフェスやツーリングイベント等の開催により、自転車の魅力や楽しさを伝え、自転車利用の啓発活動を進めます。

重点
事業

サイクルフェス、ツーリングイベント等の市単独開催

- ◆ツーリングイベントの開催による知名度の向上
- ◆市内来訪者の増加を促進